

きらめき

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL:022-297-5196
FAX:022-297-5198
発行責任者:村上 良智
編集責任者:齊藤 慎也

通建連合『一斉安全休工日（6月）』 実施結果について

通建連合「一斉安全休工日」の取り組みについては、組合員は勿論のこと現場第一線で働く労働者の心と体の健康管理は基より、リフレッシュを図り安全労働を確保する観点から6月・7月・9月・11月の第2土曜日を設定し、各職場における安全衛生委員会等の場での協力要請の他、ポスター掲示等による啓蒙活動を実施させて頂きました。

今年度1回目となる6月11日（土）の実施結果は、下表のとおりとなります。

TTKグループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）
6月	業務区分割合	118	95 (80.5%)	23 (19.5%)	0 (0%)	100%
	人数割合	2359	2259 (95.8%)	100 (4.2%)	0 (0%)	100%
大和グループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）
6月	業務区分割合	56	22 (39.3%)	34 (60.7%)	0 (0%)	100%
	人数割合	1063	956 (89.9%)	107 (10.1%)	0 (0%)	100%

当日実施（第二土曜日）と読替実施（第二土曜日以外の当月内土曜日）を含めた実施率は100%という結果であり、さらには今年度の目標としている第二土曜日当日での実施率向上についても業務区分割合・人員割合ともに向上しており、皆様の取り組みへのご協力に感謝を申し上げます。

しかし、全体的には当日実施の割合が向上しているものの、業務区分別に見ると読替実施の割合も依然として高く、第二土曜日での一斉休工ができなかった要因としては「業務繁忙」が半数以上を占めており、次いで「保守保全・設備運営」によるものが多くなっております。

現場第一線で働く労働者の負担が一段と高まっている中で、皆が休める職場環境作りに努め、休むことにより心身共にリフレッシュを図り安全労働に繋げるとの観点で今後も取り組みを継続していきたいと考えますのでご協力をお願いします。



「いつかできる」じゃずっとできない 実現しよう週休2日



情報労連「労働安全衛生強化月間」 取り組み結果について

情報労連は、厚生労働省が実施する令和4年度「全国安全週間（2022年7月1～7日）」に先駆け、6月を情報労連「労働安全衛生強化月間」に設定し、労働者の安全意識の更なる向上と安全な職場環境・健康管理の促進に向け、取り組みを展開することとしました。

インフラ東北としても、昨年度東北管内において事故が断続的に発生している現状を重く受け止め、安全意識の向上・啓発に向けた取り組みとして朝礼等の場において情報労連作成の安全啓蒙グッズを手渡ししながら安全労働に向けた注意喚起を実施するとともに、現場第一線の方々との対話を重視した情報労連および労使合同のパトロールを実施してきました。現場での対話において皆様から頂いた意見をもとに各事業所の安全衛生委員会等の場で改善に向けた労使議論を行い、より良い職場環境の実現に向けて取り組みを行っていくこととします。

安全啓蒙グッズ（除菌ウェット）



なお、パトロール等の模様は下図の通りです。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

<パトロール等実施模様>



全国的に不安定な天候が続き、これまでにないほどの局地的な大雨等も観測されており各地で甚大な被害をもたらしています。現場作業にあたっては、これまで発生した事故の再発防止策を再確認するとともに、基本動作の徹底と作業環境にあった安全対策を心掛け、決して無理をすることなく場合によっては作業を中止し安全確保をお願いします。そして個々人が「自分の職場からは事故は発生させない」との強い気持ちで作業に従事して頂き、日々皆さんの帰りを待っている家族のもとへ“笑顔”で帰りましょう。

無事故で 家族のもとへ笑顔で帰ろう！！